

2009年3月期 第2四半期決算説明会

1. 第2四半期決算の概要(連結)
2. 当社の基本戦略

2008年11月17日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

The background of the slide is a photograph of a clear blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A bright green, curved swoosh graphic starts from the bottom left and extends towards the top right, partially overlapping the text.

第2四半期決算の概要 (連結)

1) 当第2四半期の決算概要

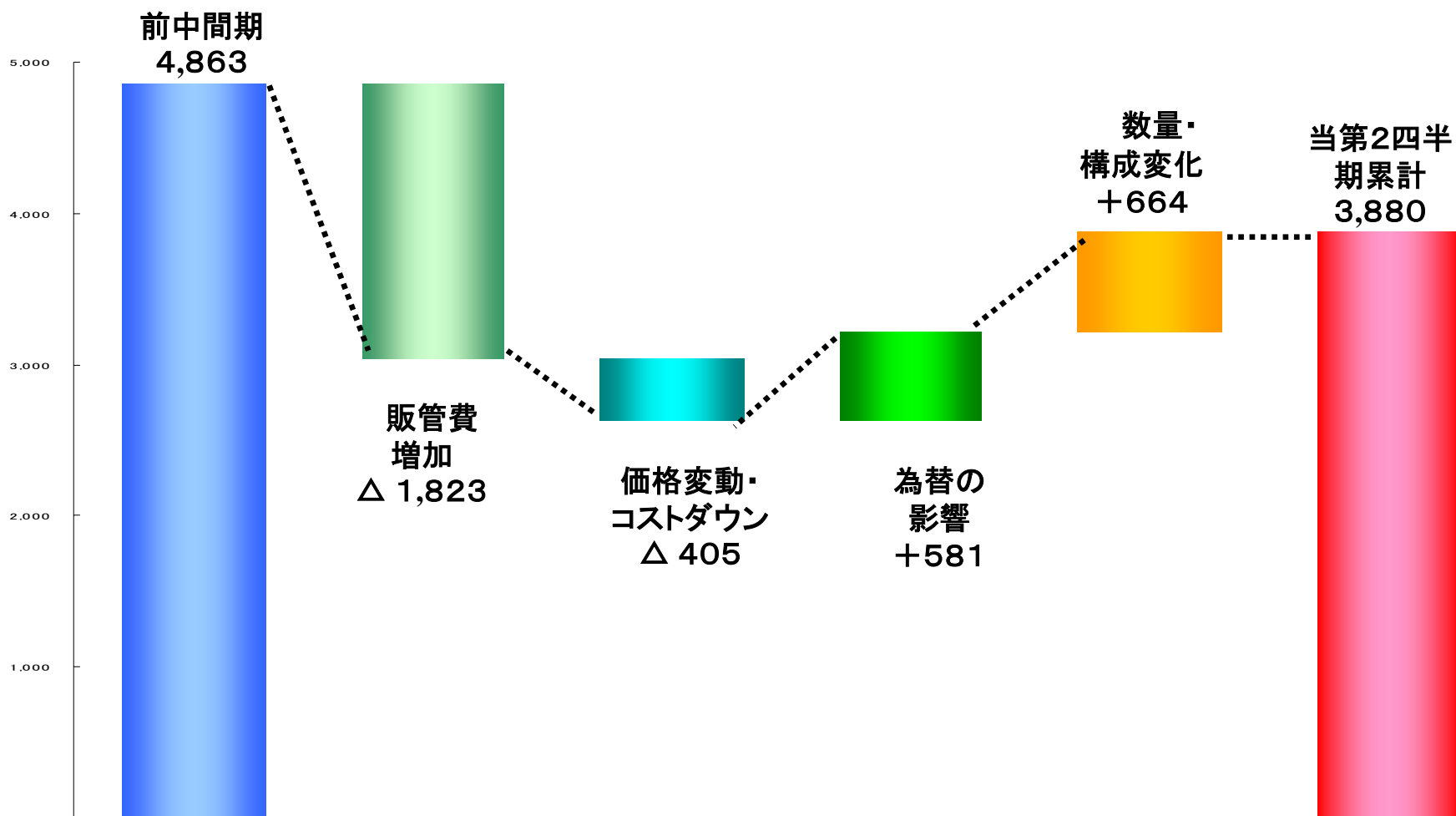
(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期累計(2008/9)		
		修正予想	実績	増減率 (%)
売上高	50,730	52,500	53,855	6.2
営業利益	4,863	3,200	3,880	△ 20.2
経常利益	4,918	3,200	3,881	△ 21.1
純利益	2,938	1,900	2,206	△ 24.9
平均レート	(2007/9)	(2008/9)		
1ドル	119	105		
1ユーロ	161	164		

(注)8月6日に業績予想の修正を発表いたしました。

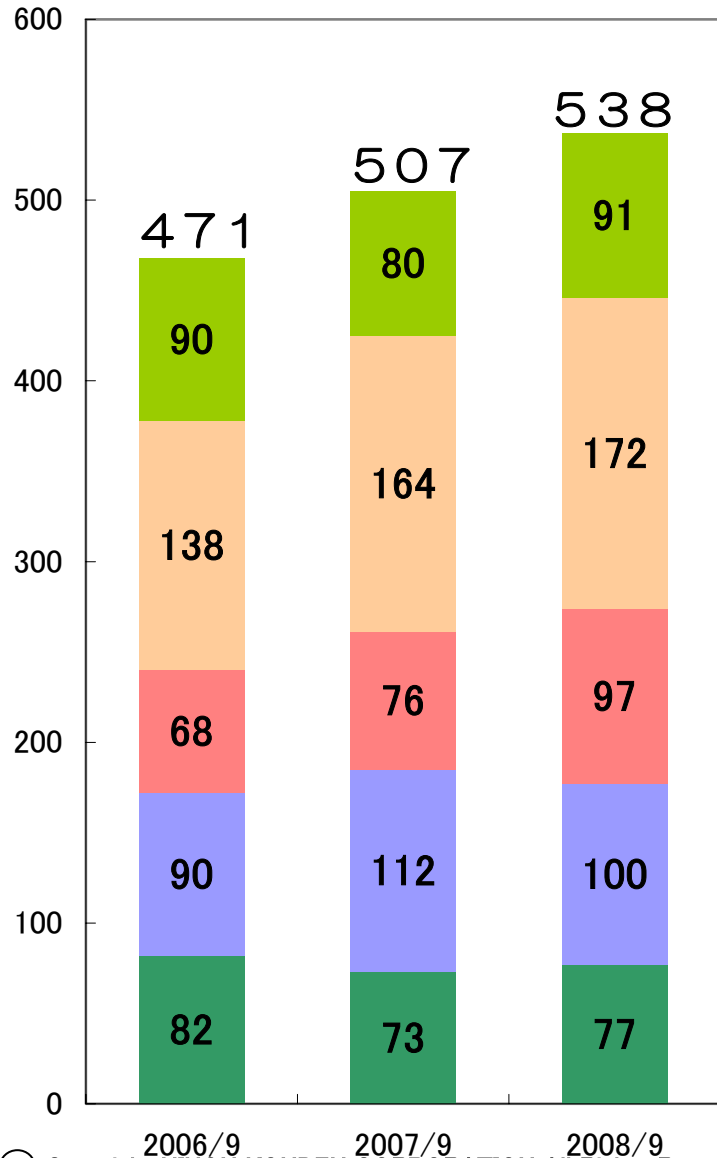
2) 営業利益増減の要因分析

(単位: 百万円、単位未満切捨て)



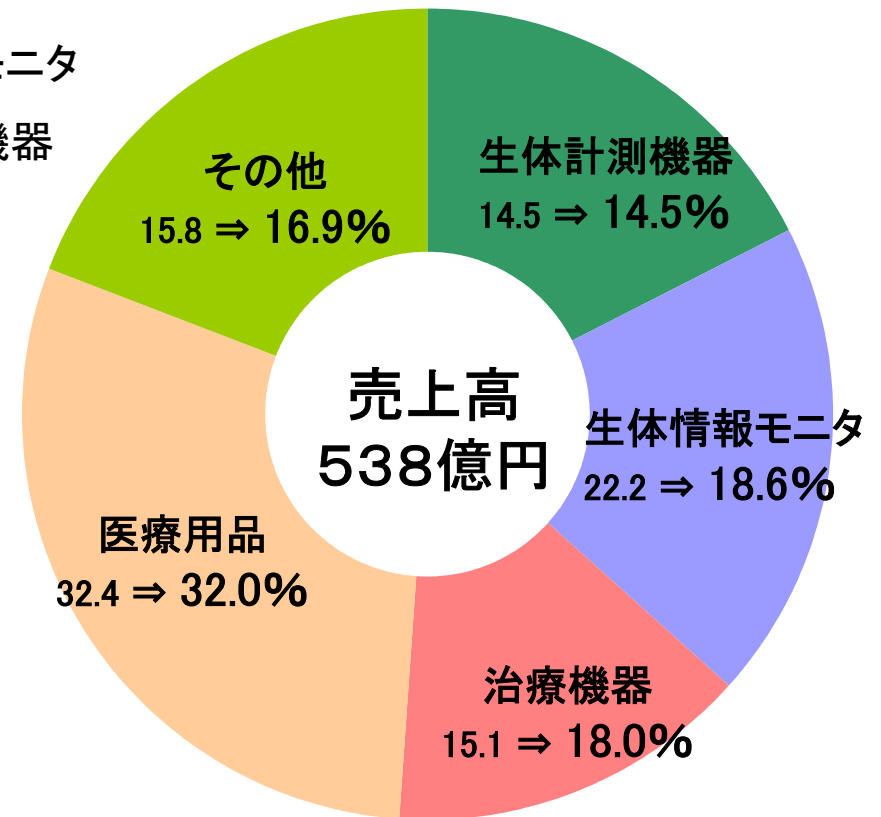
3) 商品群別売上高

(単位: 億円)



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比
(2007/9 ⇒ 2008/9)



3.1) 生体計測機器

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減率(%)
脳神経系群	3,270	3,379	3.3
心電計群	2,787	2,712	△ 2.7
ポリグラフ群	1,299	1,699	30.8
生体計測機器合計	7,356	7,790	5.9
うち海外売上高	2,510	2,652	5.6



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1250



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	11,276	10,028	△ 11.1
うち海外売上高	5,717	4,144	△ 27.5



ベッドサイドモニタ
BSM-9101



セントラルモニタ CNS-9601

3.3-1) 治療機器

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減率(%)
除細動器	4,574	6,542	43.0
ペースメーカー	1,713	1,745	1.9
人工呼吸器	901	748	△ 17.0
その他治療器	452	666	47.3
治療機器合計	7,640	9,703	27.0
うち海外売上高	1,306	1,253	△ 4.0



除細動器 TEC-5500

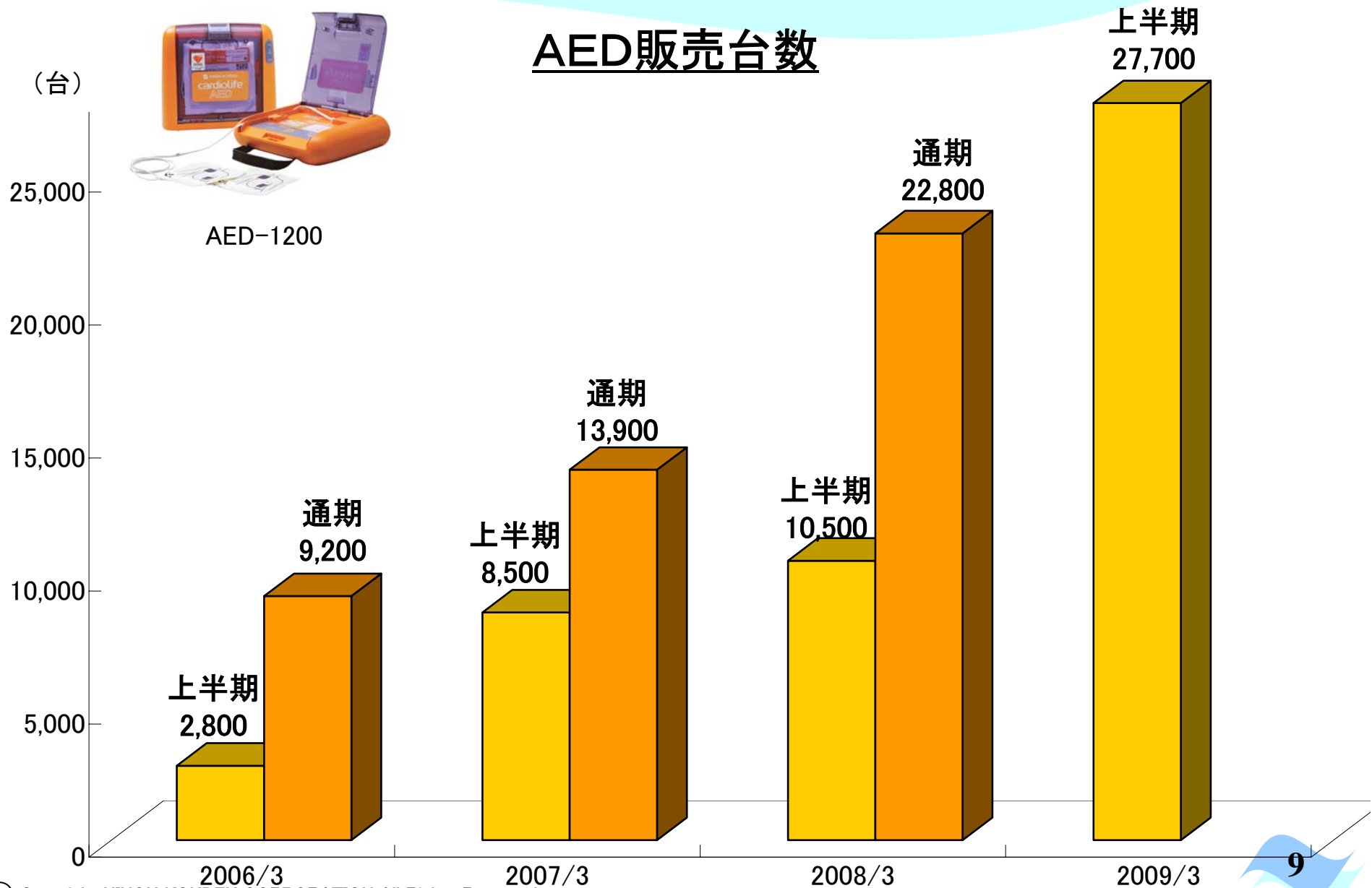


心臓ペースメーカー Kiklos DR



人工呼吸器
HAMILTON-G5

3.3-2) AEDの販売実績



3.4) 医療用品

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減率(%)
消 耗 品	13,501	13,834	2.5
修 理 ・ 保 守 他	2,952	3,374	14.3
医 療 用 品 合 計	16,453	17,209	4.6
うち海外売上高	3,203	2,290	△ 28.5



フィンガープローブ TL-201T



デイスポ電極 N-03IS3



AED用使い捨てパドル
P-590

3.5) その他

(売上高 単位:百万円)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減率 (%)
その他合計	8,003	9,124	14.0
うち検体検査装置	2,186	2,153	△ 1.5
うち海外売上高	1,225	917	△ 25.2



全自動血球計数器 MEK-6400

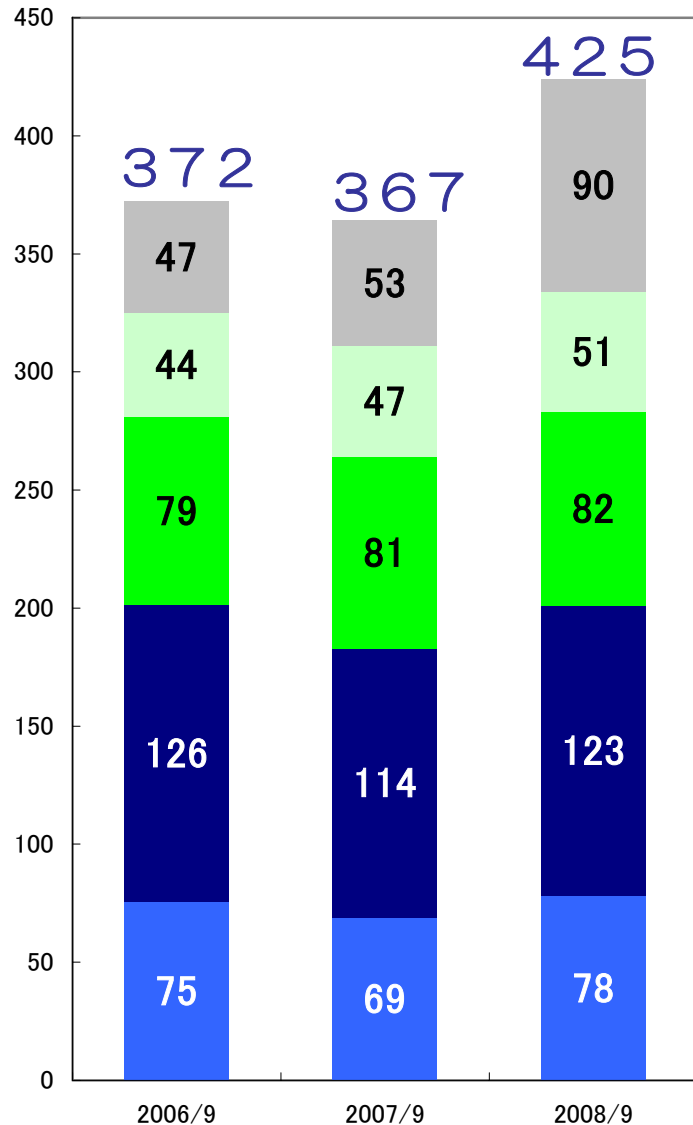


診療支援システム Prime park

4) 国内売上高

(億円)

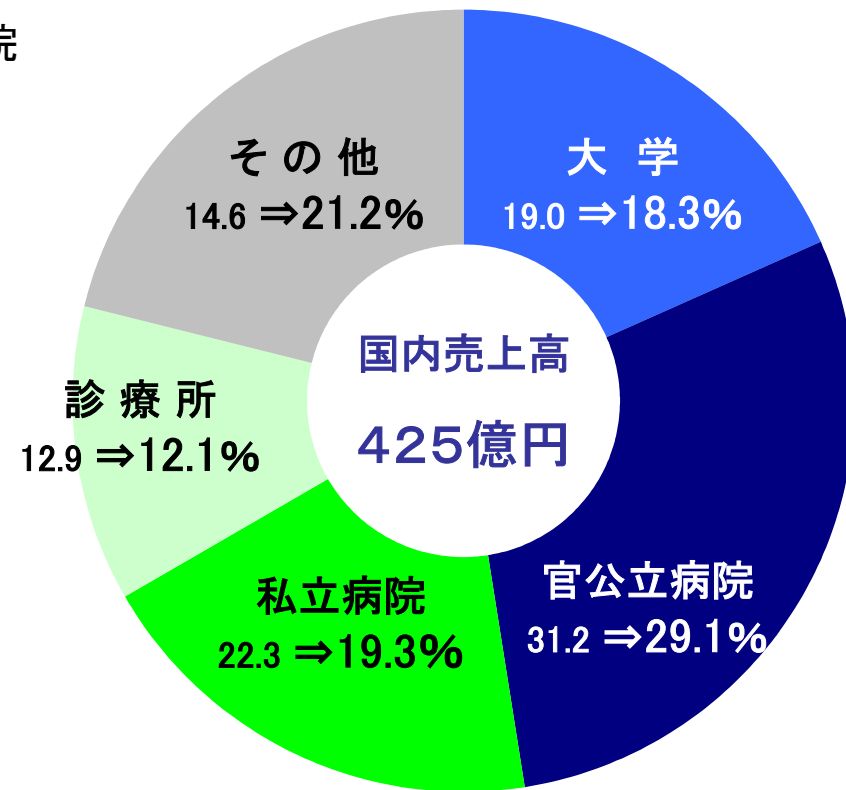
■ 市場別売上高



- その他
- 診療所
- 私立病院
- 官公立病院
- 大学

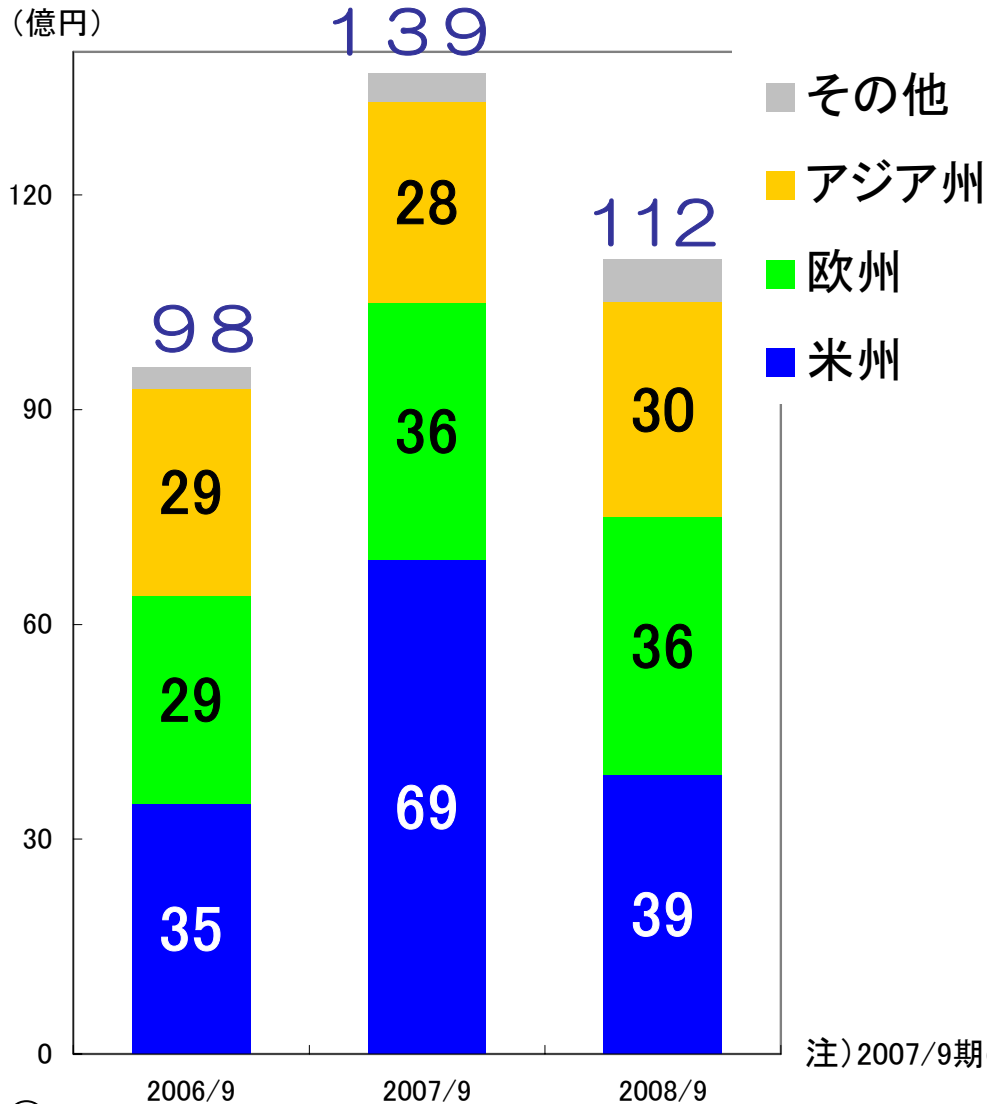
市場別売上構成比

(2007/9⇒2008/9)



5) 海外売上高

■ 海外売上高構成

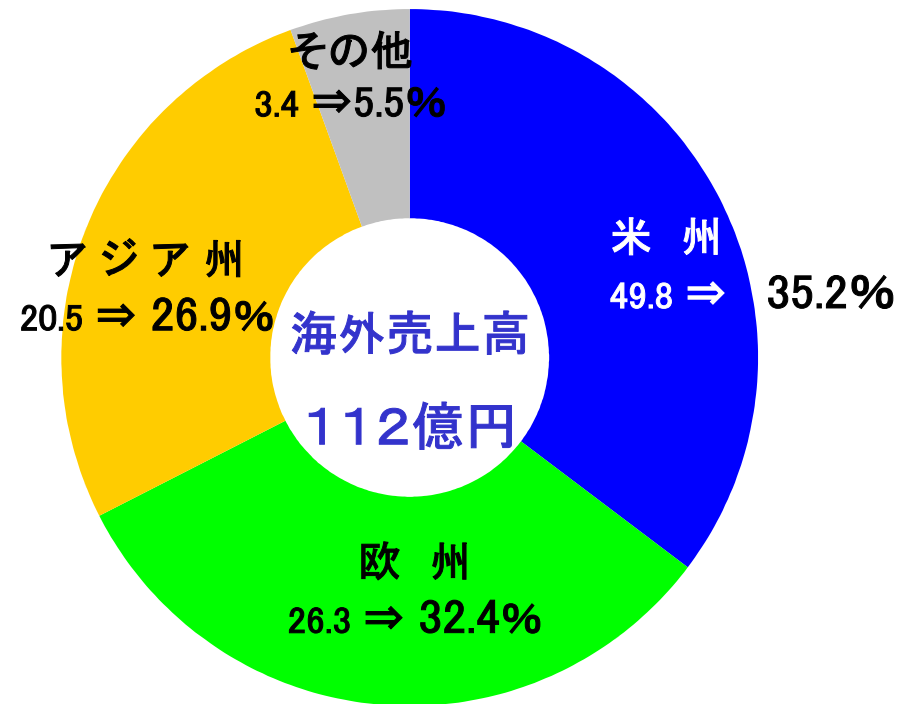


海外売上高比率

2006/9	2007/9	2008/9
21.0%	27.5%	20.9%

地域別構成比

(2007/9⇒2008/9)



注) 2007/9期の米州には、中南米での大口商談約22億円を含みます。

6) 財政状態

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前期末 (2008/3)	当第2四半期末 (2008/9)	増減額
流動資産	63,718	60,118	△ 3,600
固定資産	16,911	18,182	1,270
資産合計	80,630	78,300	△ 2,329
流動負債	28,242	24,726	△ 3,515
固定負債	573	519	△ 54
負債合計	28,815	25,246	△ 3,569
純資産	51,814	53,054	1,239
負債・純資産合計	80,630	78,300	△ 2,329



上期末の取引に比べ年度末の取引が多いため。
 売上債権 △3,063
 仕入債務 △3,160

7) キャッシュフロー

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	増減額
I 営業CF	5,021	2,839	△ 2,181
II 投資CF	△ 1,073	△ 2,482	△ 1,408
FCF	3,948	357	△ 3,590
III 財務CF	△ 1,567	△ 200	1,367
換算差額	△ 4	49	54
増減額	2,375	207	△ 2,168
中間期末残高	13,403	14,004	601

	(07/9)	(08/9)	増減
税前利益	4,981	3,913	△1,067
棚卸資産の増減(増加△)	1,687	285	△1,402

	(07/9)	(08/9)	増減
有形固定資産の取得	△889	△2,180	△1,290

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	前中間期 (2007/9)	当第2四半期 累計(2008/9)	2008/3 前期実績	2009/3 通期計画
設備投資額	819	2,601	2,658	4,400
減価償却費	944	1,181	2,106	2,700
研究開発費	2,318	2,467	4,662	5,000

- 設備投資の上期実績…………… 新製品の「型」投資、販促用製品
富岡試薬工場建設
富岡第二工場(一部)
日本バイオテスト研究所取得
基幹系システムの再構築
- 下期計画における主な案件…新製品の「型」投資、販促用製品
富岡第二工場

9) 通期の業績見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2008/3 前期実績	2009/3予想		増減率 (%)
		期初	11/7修正	
売上高	104,825	107,000	111,000	5.9
営業利益	9,817	8,500	8,700	△ 11.4
経常利益	9,545	8,500	8,700	△ 8.9
当期純利益	5,631	5,200	5,300	△ 5.9
海外売上高	25,687	25,300	23,400	△ 8.9

海外売上高比率

24.5%

23.6%

21.1%

平均レート

1ドル	114円	105円	104円
1ユーロ	161円	150円	146円

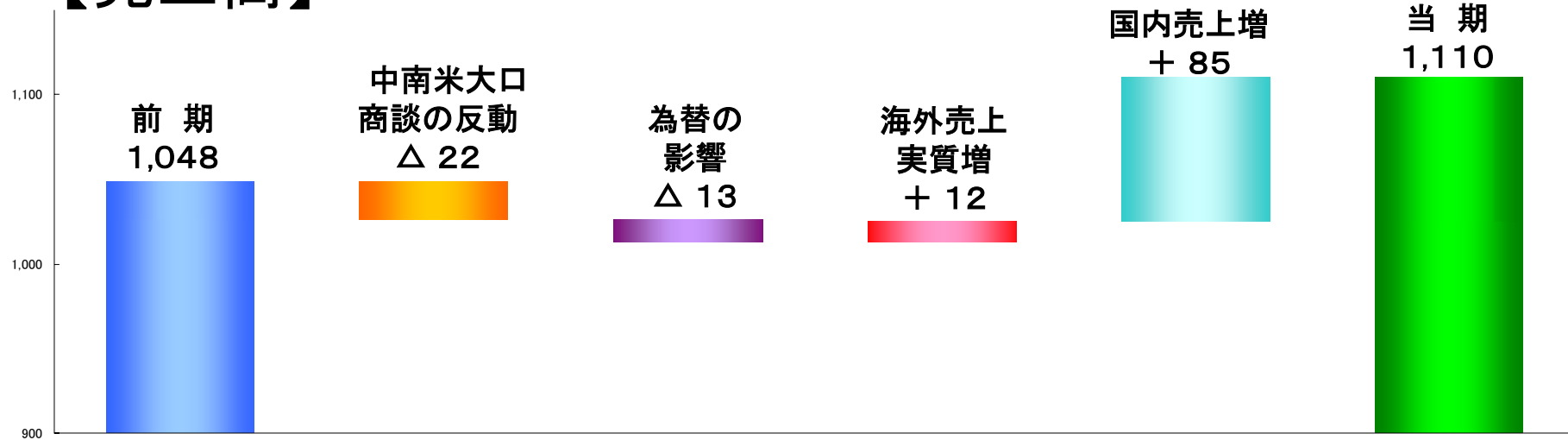
(下期)

103円
132円

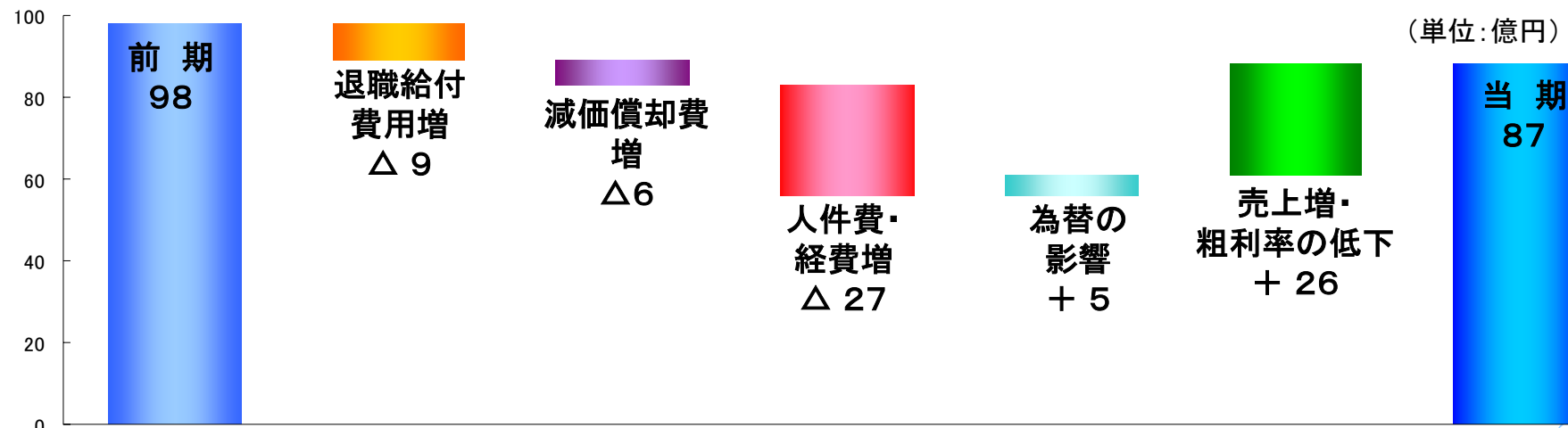
10) 通期業績見通しの要因分析

(単位: 億円)

【売上高】



【営業利益】



[参考]商品群別通期売上高見通し

(単位:百万円、単位未満切捨て)

	2008/3 前期実績	2009/3予想		増減率(%)
		期初	11/7修正	
生体計測機器	17,001	17,300	17,700	4.1
生体情報モニタ	21,882	22,800	21,600	△ 1.3
治療機器	15,862	17,000	18,900	19.2
医療用品	33,217	33,900	34,800	4.8
その他	16,861	16,000	18,000	6.8
売上高合計	104,825	107,000	111,000	5.9

The background of the slide is a photograph of a clear blue sky filled with soft, white, fluffy clouds. A bright green, curved swoosh graphic starts from the bottom left and extends towards the top right, passing behind the text.

当社の基本戦略

1) 経営ビジョン・経営方針

経営ビジョン

医用電子機器メーカーとしてのグローバルブランドの確立

経営方針

- ① 適正利益の確保による企業価値向上
- ② 顧客の信頼の確立
- ③ 独創的技術・商品の開発
- ④ 事業の重点展開と世界市場の攻略
- ⑤ 事業国際化の推進
- ⑥ 新事業への積極的展開
- ⑦ 業務機構の改革
- ⑧ 全員参加による事業運営
- ⑨ CSRの推進

2) 長期経営目標

2012年度までに

売上高 1,400億円

営業利益率 10%

海外売上高比率 30%

を目指す

3) 中期経営計画

	2007/3 (実績)	2008/3 (実績)	2009/3 (予想)	2010/3 中期経営目標値	3カ年 伸び率
売上高	966億円	1,048億円	1,110億円	1,130 億円	16.9%
海外売上高比率	22.7%	24.5%	21.1%	27.0 %	
営業利益	79億円	98億円	87億円	102 億円	27.9%
売上高営業利益率	8.2%	9.4%	7.8%	9.0 %	
ROE	10.7%	11.3%		12.0 %	
在庫回転率 ※	6.4回	7.3回		7.4回	

※ 売上高 ÷ 在庫高 (6・9・12・3月末平均)

4) 2009年3月期の重点事項ー1

AED事業の拡大

AEDラインナップ
の拡充



AED-9231



AED-1200

低価格AED
を開発・発売
(2009年3月期中)

新たな販売
チャネルの開拓

国内の販売協力企業の拡充

自社製AEDの
海外展開開始

韓国での販売展開

- ・医療機関向け：第3四半期からスタート
- ・PAD向け：第4四半期からスタート(予定)

5) 2009年3月期の重点事項ー2

生体情報モニタ事業の拡大

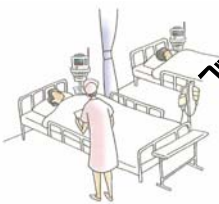
新商品モニタの投入

病棟

ベッドサイド

送信機

ベッドサイドモニタ



ナースステーション



医用テレメータ

2008年10月国内発売
11月海外発売

WEP-5200

手術室

ベッドサイドモニタ

2008年5月海外発売
11月国内発売(予定)

BSM-6000



セントラルモニタ

2008年4月国内発売
11月海外発売(予定)

CNS-9601

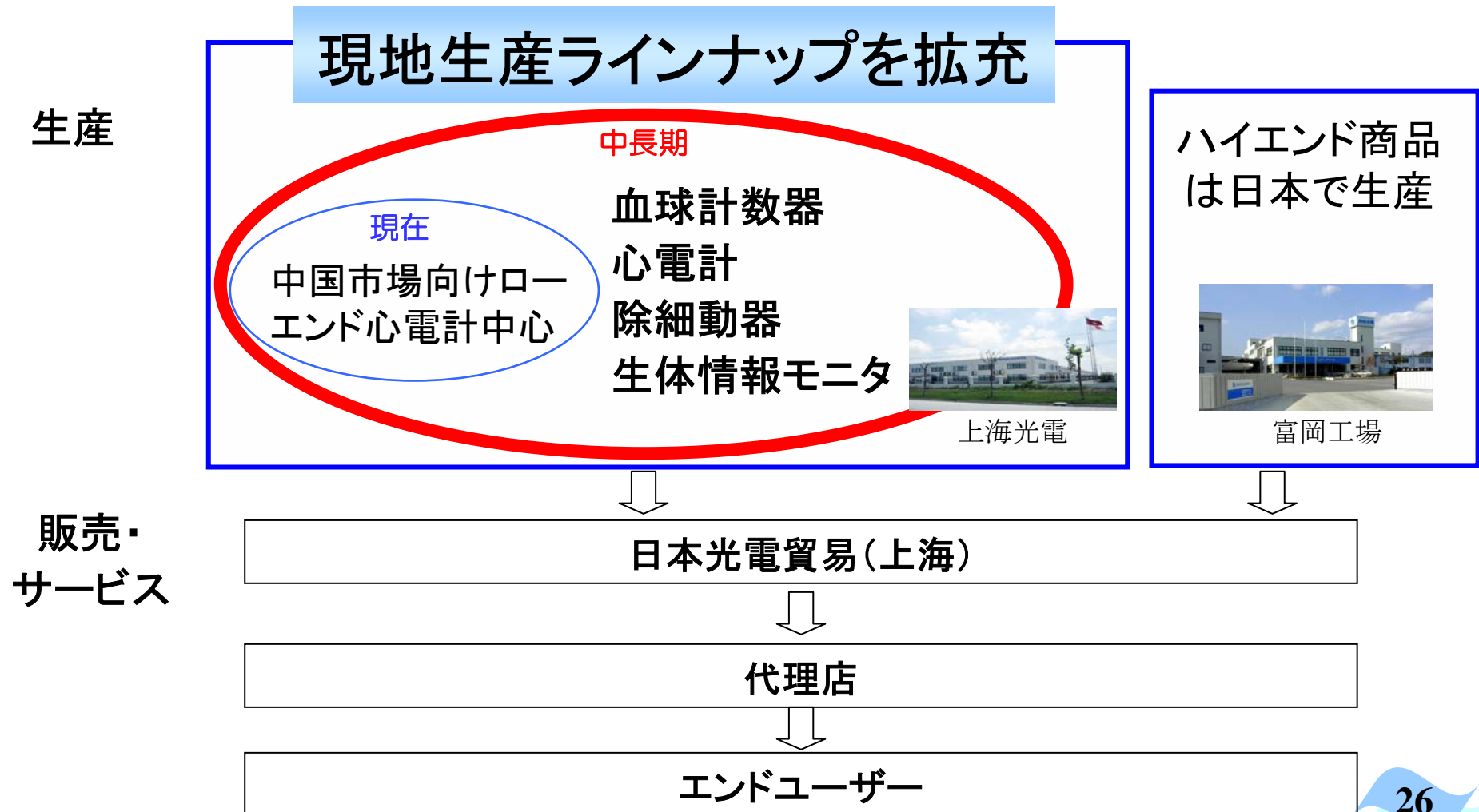


ICU-CCU



6) 2009年3月期の重点事項ー3

中国事業の基盤強化



[参考]トピックス

免疫事業拡大に向けた基盤技術の強化

2008年4月～ 日本バイオテスト研究所の買収が医療用品の売上に寄与

生体情報モニタの新たな利用領域の創出

米国で“Defensive Monitoring”による”Saving Lives and Avoiding Costs”ソリューションを提案

2008年8月 **Prefense** がフロスト&サリバン社のプロダクト・イノベーション賞受賞

2008年10月 **Prefense** を対象に、共同購買組織アメリネット社と3年契約締結

血球計数器向け試薬の現地生産

2009年1月 インドの合弁子会社スパン日本光電ダイアグノスティクスが試薬
生産開始

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 TEL03-5996-8003